

## 【スペクトラレーザー治療】 I ルートロトーニング（肝斑レーザー治療）

## II SPECTRA PEEL（肌質改善レーザー治療）

## III LUTRO PEEL（色調改善レーザー治療） 各治療にあたっての注意事項

### 治療を始める前に 患者様へ

- 治療内容や個人差により、10回を目安とした、複数回の施術が必要であること。
- 1～2週間(肝斑トーニング)3～4週間(ピーリング)間隔に1回での治療頻度で継続してもらうこと。
- 治療結果には個人差があること。(場合により、外用、内服剤等のレーザー以外での治療を行う)  
⇒肝斑治療において、学会では、外用剤治療で改善がなかった患者にトーニング治療を行った結果、8割の改善例があり、現在この治療方法が最新治療とされている。
- 治療途中に関わらず、肝斑を中心に肌治療は様々な要因で再発の可能性もあるため、また一旦良好な結果が得られても、継続的な施術やその他治療が必要です。
- 悪化などの副作用のリスクを下げるために、治療前後の1週間程度は、海水浴や登山、紫外線下でのスポーツなどを極力避けること。もし行った場合には、きちんと医師に申告すること。
- 肝斑治療中にアウトドア行為で長時間紫外線を浴びれば、肝斑が悪化・再発することが十分に有りうる。その期間は治療を中断することもある。

### 施術後のケアに関して

- しっかりと肌の保湿をして下さい。
- 治療期間中は、遮光の為にUVケアを徹底して下さい。紫外線予防は特に肝斑治療と色調改善治療においては、必須です。
- 普段の生活において顔を慣習的に擦らないで下さい。洗顔やメイク時にも擦らない慣習を身につける。(特に入浴時にはゴシゴシ擦らずに泡洗顔を徹底して下さい)
- 刺激性のある化粧品の使用は施術後1週間は控える。(グリコール酸、レチノール…etc)

### 施術の注意点

- 肝斑や、色ムラが濃いほど、レーザー照射中に痛みを感じることもある。
- レーザーを一定時間照射する。顔に発赤が出る程度に照射する。その発赤は1日で消失する。
- 産毛のある方やニキビがある方は、照射後に照射後の発赤が長引いたり、レーザーの確実な浸達効果による炎症反応で、逆に赤みが発疹したりすることもあるが、それは数日～1週間で収まる。